

はじめに

近年、さまざまな自然災害が私たちの生活を脅かしています。被害を最小限にとどめるためには、村民の皆さん一人ひとりがあわせて落ち着いて、適切な行動をとることが重要です。また、「自分たちのむらは自分たちで守る」という連帯感のもとに、日頃からの備えをしていただき、高齢の方や障がいのある方には日頃から気を配っていただくことが大切となります。このマップは、災害に前もって準備できることはどのようなことなのか、風水害や地震ではどのような点に注意しなければいけないのか、あわせて、災害がおきたときに避難できる場所を掲載しています。ご家庭や地域の皆さんで防災について話し合いをされる際にご活用ください。

目次

・総合防災マップの使い方	1
・総合防災マップで想定する災害	1
・わが家の防災計画（マイタイムライン）	2
・洪水ハザードマップとは	4
・過去に発生した主な水害	4
・災害が起こったら — 避難行動	5
・早期の立退き避難が必要な区域	5
・土砂災害ハザードマップとは	6
・土砂災害の特徴と前兆現象	6
・土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域	6
・土砂災害に対する心構え	7
・避難時の心得・注意点	8
・風水害ハザードマップ（童仙房地区）	10
・風水害ハザードマップ（野殿・童仙房地区）	12
・風水害ハザードマップ（南大河原・北大河原地区）	14
・風水害ハザードマップ（北大河原地区）	16
・風水害ハザードマップ（田山地区）	18
・風水害ハザードマップ（高尾地区）	20
・地震発生時の行動	22
・想定される地震被害	24
・避難所一覧	24
・地震ハザードマップ	25
・災害に備えた家の中の準備	26
・わが家の防災対策（室内）	27
・ご自宅の耐震対策はお済みですか	27
・防災行政無線・防災情報メールなど	28
・緊急地震速報・安否確認	29

総合防災マップの使い方

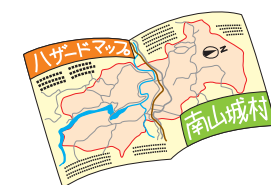
ステップ 1 お住まいの地域の危険性(災害リスク)を知る!

総合防災マップを見て、皆さんの自宅や周辺にどのような災害の危険性があるのか確認します。



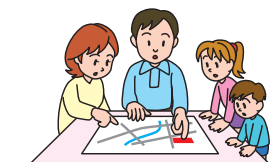
ステップ 2 避難場所、避難経路を確認する!

総合防災マップを見て、安全な避難場所を確認します。また、自宅から避難場所までの避難経路を確認します。



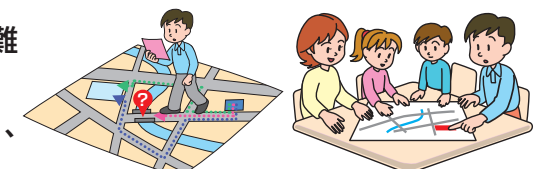
ステップ 3 防災計画(避難ルール)を考える!

災害から身を守るため、いつ、どうやって避難するのかを考えます。



ステップ 4 避難訓練をする!

総合防災マップを基に考えた避難場所、避難方法、避難ルールがうまくいくかどうか実際に訓練して確認します。
訓練した結果、うまくいかなかった点などを振り返り、避難ルール等を見直すことも大切です。



総合防災マップで想定する災害

洪水



京都府及び国（国土交通省）は、それぞれ管理する河川が氾濫した際に、浸水域や浸水深がどの程度か、シミュレーションを行い、その結果を公表しています。このマップではこれらのシミュレーション結果と皆さんのお住まいの地域とを重ね合わせ、洪水による災害リスクとして表示しています。

土砂災害



京都府は、土砂災害のおそれのある区域を、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に指定し、その結果を公表しています。このマップではこれらの区域と皆さんのお住まいの地域とを重ね合わせ、土砂災害による災害リスクとして表示しています。

地震



京都府は、甚大な被害が発生する地震・津波に備えるため、府域へ影響が懸念される地震等の被害想定を実施しています。このマップでは京都府が実施した被害想定結果と皆さんのお住まいの地域とを重ね合わせ、地震による災害リスクとして表示しています。